



交通栄誉章緑十字金章 を受章

石塚敏さん（新町）

永年、町の交通安全のために尽力された功績により、石塚敏さんが、警察庁長官と全日本交通安全協会会長連名の「交通栄誉章緑十字金章」を受章されました。

石塚さんは平成3年に立川地区交通安全協会清川支部役員となり、平成7年からは同支部の支部長として8年間、地域に根差した活動で交通事故防止のために多大な貢献をなされました。同会の理事や監事を歴任され、平成16年から令和3年までは町の交通指導員として、子どもたちの安全を守るために活動されました。

2月7日に庄内警察署で行われた伝達式では、敏さんに賞状と記念品が贈呈。夫を支えた妻の武子さんには、全日本交通安全協会会長名の感謝状が贈呈されました。

敏さんは「仕事ではバスの運転手を45年、交通事故に気を付けて運転していた。受章はこの上ない喜び。みなさんに感謝したい」と話し、武子さんは敏さんの人柄について聞かれ「まじめで一生懸命な人。事故を起こさないよう、なるべく夫婦喧嘩をしないように心掛けていた」と笑顔で話していました。

日本スポーツ少年団顕彰 表彰・山形県スポーツ少年 団功労者表彰を祝う会

石川武利さん（主殿新田）

田桑 秀さん（東一番町）

長南 護さん（小出新田）

「日本スポーツ少年団顕彰」を祝う会 「山形県スポーツ少年団功労者表彰」



スポーツ少年団の育成に尽力された功績が讃えられ、国や県から表彰された3人の受賞者の合同祝賀会が、2月23日、和心で関係者約40人が集い開催されました。

令和2年に日本スポーツ少年団顕彰表彰を受賞した石川武利さんは、余目卓球スポーツ少年団の発足から卓球の指導に、令和元年に山形県スポーツ少年団功労者表彰を受賞した田桑秀さんは、平成18年から陸上競技、また、今年度同賞を受賞した長南護さんは、平成5年からサッカーの指導にそれぞれ尽力されました。ほかにも、3人ともに町や県のスポーツ少年団組織の要職も務められています。

石川さんは「ただ勝てば良いのではなく、教育的配慮を持った指導をしていきたい」と今後の方向性について述べ、田桑さんは、「今後子どもたちとの時間を大事に頑張りたい」、長南さんは、「引退も考えたがもう少し頑張りたい」と、3人からは子どもたちや保護者への感謝の言葉とともに、今後の町のスポーツ振興について熱い思いが語られました。